

市町村合併 住民説明会 開催結果及び質疑概要

開催結果	P 1
主な質疑	P 2 ~ P 4
主な意見	P 5

開催結果

開催回数 4回 参加者数合計 229 名

月日		回数	会場	参加人数	開始時間	終了時間	
2月	9日	水	1回	まなぼっと幣舞	52名	18:30	19:42
	11日	金	2回	コアかがやき	45名	10:00	11:01
			3回	コア鳥取	61名	14:30	15:59
	12日	土	4回	コア大空	71名	10:00	11:35

主な質疑

住民説明会での主な質疑を要約したものです。

主な質問	主な説明内容
<p>白糠町が一番熱心に合併について協議していたのに、ああいうかたちになって、本当に合併までいけるのかどうか、よく分からなくなった。</p> <p>市議会議員と町議会議員で報酬に差があったりなど、対等でないという意識から合併に対して不信感が持ち上がり反対という結果になったのでは。</p> <p>今後は、お互いを思いやる温かい気持ちと対等合併ということをお忘れずに合併を実現させて欲しい。</p>	<p>町議会議員の報酬については、町の住民の方々の意見などから、町議会議員の皆さんが判断した結果を受けたものであります。</p> <p>また、在任特例を選択したことや、3市町での論議の中で、1回目の選挙に限り選挙区を設け定数配分を行うとしている方向性についても、町や町議会の皆さんの意見をきちんと受けた上での判断であり、妥当であると考えています。</p> <p>市としては、これまでどおり、お互いの意見をきちんと交わし、さらに理解を深めながら論議を進めていきたいと考えています。</p>
<p>財政計画で、平成22年に収支がマイナスからプラスに変わっているが、どの様なことからそうになっているのか。</p>	<p>ひとつは、職員の数を段階的に減らしていきます。退職した人数分を採用で全部補充するのではなく、補充を少なくして徐々に減らしていく効果が年が経つにつれ大きくなっていきます。また、合併特例債というお金を借りますが、この償還は合併後数年してからはじまり、その償還に対して国から7割の交付税が算入されますので、この効果が後年次に現れ、年々収支が良くなっていきます。</p>
<p>合併特例債は、上手に有効利用して欲しい。4市町の時と3市町では金額が変わると思うがどのくらい変わるのか。</p>	<p>4市町での建設事業に関わる合併特例債は、304.4億円でしたが、3市町では226.7億円となり、約77億円ほど減ることになります。</p>
<p>何年後か分かりませんが、離脱した町村が合併したいといった場合、どの様に考えるのか。</p>	<p>自立を決断したまちは、経費の削減、住民サービスの見直しなど、様々な取り組みを始めており、今後、そのまちの状況がどの様になるかは想像が付きません。ただ、釧路管内の市町村は長い歴史の中でお互いに支え合いながら発展してきた運命共同体であるとの観点から考えると、万が一その様なことがあった場合、釧路市としては基本的に合併をする方向なのかなと言う気はしますが、その時は、あらためて市民の皆さんとよく相談して考えることになるでしょう。</p>
<p>合併して人口が20万人を超えた場合、特例市と言うことが考えられていたが、3市町では、人口が20万人に達しないので、特例市としての見通しが薄れていると思うが、権限だけの問題なのか、財政的にも影響があるのか。</p>	<p>一般的な市が特例市になれば、約20ほどの権限が移ってくると言われています。</p> <p>大きくは、環境の監視・指導、計量関係、都市計画・都市開発などに関する権限ですが、釧路市は計量関係、都市計画・都市開発の権限はすでに移譲または委任されていて、交付税、委託金等の措置も受けており、現状では、新たに特例市になるかならないかでの財政的な面の影響はほとんどありません。</p>

主な質疑

住民説明会での主な質疑を要約したものです。

主な質問	主な説明内容
<p>音別町が飛び地になって住民サービスが低下していくのではないかと心配しているようですが、どの様に考えていますか。</p> <p>飛び地と言うことだが、目が届いた一体の行政が進められるのか。</p>	<p>合併を選択しなければ、様々な経費の削減や住民サービスの見直しを図っていかなければなりません。</p> <p>飛び地であろうと合併することで、住民サービスをできるだけ低下させないことが大切だと考えています。</p> <p>今までも説明してきましたとおり、道路の舗装率や下水道普及率など、地域の都市基盤の向上や、音別駅を核とした市街地の整備なども進めていきますし、光ファイバーを総合行政センターや小学校まで張り巡らせることにより、サービスの向上や緊急時の情報伝達など、常に行政情報を共有することで、一体となった行政サービスを提供していけると考えておりますし、またそうしていかなければならないと思っています。</p>
<p>地域協議会の役割、権限といったものを教えて欲しい。</p>	<p>地域協議会は、それぞれの地域の皆さんが、自分たちの地域の声が市政に反映されるだろうかという心配から設置することとなりました。</p> <p>ここでは、地域の代表の方々などが集まり、その地域に関する重要事項を議会とは別なかたちで、論議していただいたり、市からの諮問に答申していただく組織となります。</p>
<p>率直に言って、飛び地というのに違和感を感じる。</p> <p>6市町村から4市町になり、3市町で飛び地でも合併すると決めて進めているわけですが、やはりちょっと立ち止まって自立してやっていけるかどうかも含めてもっと時間をかけて協議した方が良いと思う。</p>	<p>今後の国の構造改革による交付税や補助金の削減、権限移譲、また少子高齢化等による税収の減少と社会保障費の増加など将来を見通した場合、合併によりそれぞれの自治体の基礎体力や能力を上げていくことが必要であると考えています。</p> <p>また、合併特例債や一定期間の交付税制度の保証などの財政支援措置は、確かに国の合併推進策ではありますが、合併後の地域の発展や住民・福祉サービスの維持向上を考えると、これらを有効に利用することは、大きなメリットでありますので、ぜひ3月末の期限に間に合わせたいと考えています。</p> <p>また、これらの考え方や枠組みについては、釧路市が無理に進めようとしているのではなく、これまでの数年に渡る協議の中で、それぞれのまちの意志を尊重した上で合意してきたものであり、釧路地域の将来のためにも必要なことだと考えています。</p>
<p>地方自治の単位は小さい方が良い。大きくなることによって、出来なくなること、失われてしまうものは大きい。</p> <p>長い歴史や郷土から、伝統文化や習わしが生まれ郷土愛が育つが、この合併によって風化していくと思う。</p> <p>この合併は子供たちや青少年によくないと思う。</p>	<p>合併の必要性については今までもお話しさせていただいたとおりですし、これまで、数年に渡る協議の中で、住民サービスなどについてはその町の良いところは可能な限り残していくということで合意してきましたし、それぞれの地域の歴史や文化についても大切にしていけると何度も確認してきたところでありますので、今後もそうしたかたちで進めてきたいと考えています。</p>

主な質疑

住民説明会での主な質疑を要約したものです。

主な質問	主な説明内容
<p>議員の在任特例は無駄ではないでしょうか。 合併した場合は、新しい気持ちで、前の自治体の枠を引きずった議員さんではなく、選びなおして欲しい。</p>	<p>合併するときの議決は各市町議会により行われることとなります。 その決断をした議員は、合併した新しい市で、自分たちの地域の意見を反映させる、また、新市のまちづくりをきちんと実施していくなど、果たすべき大きな責任があります。 また、合併後すぐに選挙となると、議員1人あたりの人口比から考えても、町議の人数がいきなり減ってしまう可能性があり、町民の合併に対する不安感が高まると考えられます。 これらのことから、合併時は在任特例で一定の責任を果たしていただき、1年半後の選挙では旧市町ごとに選挙区を設け、おそらく法定数となる34人の議員数の中で、定数配分を行うこととしています。 その後の選挙については全市1区で行われることとなり、このように段階的な措置が考えられています。</p>
<p>合併すれば、10年間地方交付税を保証してもらえるのだから、合併特例債の方は結局は借金なので出来るだけ使わないで欲しい。</p>	<p>合併特例債は、全て新しい事業に使われるものではありません。いまの3市町が既に計画している将来のまちづくりに必要な事業や合併時に市町間で差が大きい下水道普及率や舗装率などの水準を合わせていく都市基盤の整備などに利用されます。 また、この特例債は、合併後の約10年間の事業などに利用でき、事業費の95%の起債（借金）が認められ、その償還の70%に国からの交付税が措置されます。 現在の計画では建設事業費分の合併特例債の枠が226億円有り、そのうち11年間で165億円の利用を計画しています。 これは1年間に15億円ということになりますが、3市町あわせて1年間の通常公共事業費は圧縮しても90億円台ほどであり、ここに償還が有利な合併特例債を充てていきたいということなので、無駄な借金をして、無駄な事業を行っていくような考えは、全く持っていません。</p>
<p>合併したら部や課を統合して人員を減らしていくのか。 合併するところもしないところも職員を削っている。 もちろん住民の立場としてはサービスの向上と低負担であり、ただ削れば良いと言うわけではないだろう。</p>	<p>合併してもしなくても住民サービスを可能な限り維持するため、役所の機能を合理化して、住民サービスに充てる予算を確保しなければならないと考えています。 昨年、市も水道部と下水道部を統合し、共通する業務について削減を行ったところです。 現在、各自治体にそれぞれある総務や財政や議会事務局などは、合併により一つでよくなりますし、他にも重複する部署が出てきますので、こういったところから合理化を進めていきたいと考えています。 このように、地域がまとまって、無駄な経費を省きながら住民サービスを維持していくことが大切だと思います。 また、ただ職員を減らしていき、住民サービスを低下させるということではなくて、民間で行うことができるものは、民間でという現在の行財政改革の考えのもと合理化を進めていきたいと考えています。</p>

主な意見

飛び地や距離がどうだと言うことではなくて、そこに住んでいる人たちが釧路市を生活圏だと考えてくれているのであれば、そういう事を理解し合いながら進めていけば良い。

白糠町が抜けて飛び地となるが、ぜひ合併して欲しい。そして魅力のあるまちにするために、優秀な観光資源のPRや、市民一人一人が自分たちのまちづくりを行っていくんだという意識を高めていくようなことを新市の施策に盛り込んで進めて欲しい。

合併しても各町への物理的な距離は変わらないので、移動する時間を短縮するということが新市の課題になると思うことから、各町へ向かう国道の車線を増やすなど、道路拡幅の要望をして欲しい。

合併は借金など国の都合や地方の事情もあるからやむを得ないところがあるのだろうが、一般市民からすると合併したら釧路市は、こんなまちになるんだぞと言うような夢も必要になると思う。